



衛研ニュース

第6号

川崎市衛生研究所

平成 22 年 9 月 発行

業務紹介

その1

臨床検査室では・・・

エイズ対策事業の一環として、昭和 62 年 2 月から保健所を窓口に対 HIV（ヒト免疫不全ウイルス Human Immunodeficiency Virus）抗体検査を実施しています。平成 7 年からは全国に先駆けて日曜検査・相談事業を開始し、平日に検査を受けられない方への利便を図っています。さらに平成 13 年度からは、厚生労働省科学研究班からの研究委託を受けて、日曜検査において抗体検査に加え、希望者に NAT 検査*を実施し、HIV 感染者の早期発見に努めています。

HIV の感染経路

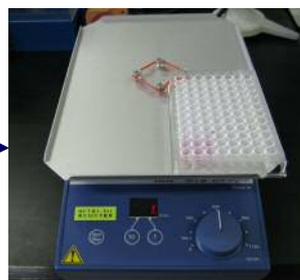
HIV は血液・体液等を介して感染します。感染経路は性行為感染、血液感染、母子感染の3つで、日本では男性同性間及び異性間の性的接触が主な感染経路です。

HIV の検査

HIV に感染するとそれに対する抗体が血中に現れます。HIV 検査では、この抗体を検出します(下写真)。通常、抗体が検出されるまでに 4～8 週間ほどかかるため、川崎市では感染の有無が正確に判定できるよう、原則として、感染の可能性があった機会から 3 カ月(90 日)以降に検査を受け付けています。この検査で陽性、あるいは疑わしい検体についてはさらに確認検査（ウエスタンブロット法による検査、NAT 検査）を実施しています。

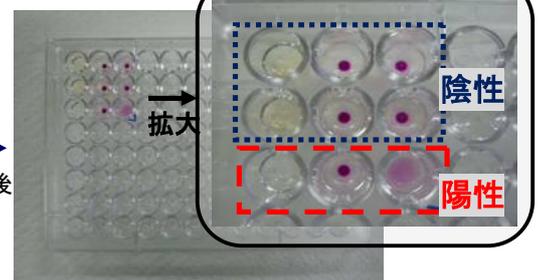


検体を調整し
試薬を加えます



検体と試薬を
軽く混和します

2 時間後



このようになります。

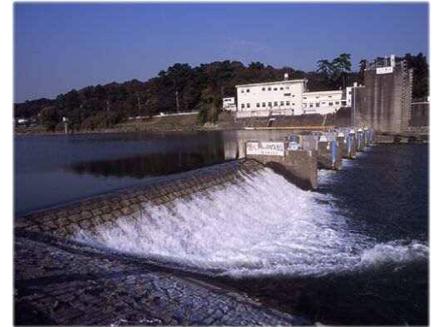
陽性の場合は、さらに確認検査を行います

* 『NAT 検査』… 核酸増幅検査 (Nucleic acid Amplification Test) の略で、HIV 遺伝子の一部を抽出し、その核酸を増幅して検出します。個人差はありますが、HIV では感染した可能性のある機会から 2～3 週間ほどで HIV 遺伝子が検出できるようになります。衛生研究所でも感染初期のため抗体検査が陰性でありながら、NAT 検査で陽性と判明した事例を 3 例確認しています。NAT 検査は HIV 感染者を早期に発見し、適切な治療に結びつけることができる大変有用な検査です。

多摩川に生息するアユ

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所の調査によると、今春、調布取水堰(新丸子・田園調布付近)で、約 196 万尾のアユが多摩川を遡上(そじょう)しました。

水質汚染により一時期、姿を消しましたが、多くの人々の努力で再び「多摩川鮎」がよみがえりました。



多摩川（調布取水堰）

京浜河川事務所 HP より

多摩川産アユの微量汚染物質検査



多摩川で捕獲されたアユ

継続して実施していきます。

環境検査室では、「川崎河川漁業協同組合」からの提供を受けて、多摩川産アユの微量汚染物質の検査を行っています。人体に有害な「カドミウム、鉛、ヒ素、水銀等の金属類」の他、「有機スズ化合物」、発がん性が指摘される「 α ベンゾピレン」、難分解性の「PCB（ポリ塩化ビフェニル）」などの分析を行っています。

また、多摩川河口に生息する「シジミ」の微量汚染物質についても検査を行いました。

いずれの項目も食用として問題のある値ではありませんでした。今後も微量汚染物質のデータ収集分析を



重金属検査の前処理を行っています

微量汚染物質の規制

日本ではかつてカドミウム、有機水銀など重金属を主原因とする病気や PCB による油症が起こりました。現在、発展途上国等、海外で重金属や化学物質による食品や飲料水等の汚染が問題となっており、WHO をはじめとする国際機関ではこれらの物質の国際的な基準づくりを行っています。〔環境検査担当〕

『衛研ニュース』バックナンバーを衛生研究所ホームページに掲載しました。

★ 4月から8月までの『衛研ニュース』を下記HPアドレスからご覧いただけます。

発行元 川崎市衛生研究所

〒210-0834 川崎市川崎区大島5-13-10

電話 044-244-4985 FAX 044-246-2606

メールアドレス 35eiken@city.kawasaki.jp

HPアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/35/35eiken/main.html>



KAWASAKI CITY
川崎市